NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞から世界の国々を見つけよう

2．学校名

鹿児島県垂水市立協和中学校

3．実践者名（代表者名）

園山　公平

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　20人

6．単元（本時の学習課題）名

「一日の新聞にいくつ国名が載っているか探してみよう」

7．目標(狙い)

・新聞に親しみ、世界の国々に興味を持つことができる。
・地図帳の「さくいん」を利用し、国の位置を調べることができる。

8．評価の視点

・意欲的に新聞記事から国名を探すことができたか。
・「さくいん」の利用方法を身につけ、国の位置を確認することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「世界の構成は・・・」（教育出版）6時間
本時「世界には国がいくつあるの？」（2/6）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①一人一紙を配布し、新聞記事の中に書かれている国を探す。
②探した国の位置を地図帳を使って調べる。
③グループで白地図に調べた国を書き込み、国の数を競う。
④出来上がった地図を見て、どのような地域の国名が多いか、少ないかを考える。
⑤「EU」などの新しい動きや、国が新たに独立したり消滅したりすることについて確認する。

（留意点）
・漢字で表記されている国名については、資料集などで確認させる。
・州と国の違いについて確認させる。
・「EU」や「ASEAN」などの組織や、「香港」「台湾」などの地域については簡単に説明する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「欧州をこれまで国のことだと思っていたが、ヨーロッパ州のことだということが記事を読んでよく分かった」「アメリカや中国の記事が多い」「アフリカの国のニュースはほとんど載っていない」などの感想や気づきがあり、国際面や旅行会社の広告をうまく活用することができた生徒が多かったようである。

12．成果と課題

探した国の位置を地図で確認したり、漢字で表記されている国名を調べたりするなど、新聞と地図帳に親しむことができた取り組みだった。新聞の紙面構成に関心を持ち、授業後に色々な新聞社の紙面を見比べる生徒も見られた。探した国と日本との関係を調べる課題を長期休業中に取り組ませるなど、さらに発展させ、深めていきたい。